

業務規程の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>(呼 値)</p> <p>第14条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 呼値の単位は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 株券(受益証券を除く。)は、1株(新株予約権証券については、新株予約権の目的である株式1株の交付を受けることができる新株予約権の数を、1株とする。以下同じ。)につき、当該1株の値段が、2,000円以下の場合は1円、2,000円を超え3,000円以下の場合は5円、3,000円を超え3万円以下の場合は10円、3万円を超え5万円以下の場合は50円、5万円を超え<u>30万円</u>以下の場合は100円、<u>30万円</u>を超え<u>300万円</u>以下の場合は1,000円、<u>300万円</u>を超え2,000万円以下の場合は1万円、2,000万円を超え3,000万円以下の場合は5万円、3,000万円を超える場合は10万円とする。ただし、当取引所が呼値の単位を引き下げる必要があると認めて特に指定したものは、当該呼値の単位を下回る呼値の単位とする。</p> <p>(2)~(4) (略)</p> <p>4~8 (略)</p> <p style="text-align: center;">付 則</p> <p>この改正規定は、平成20年7月22日から施行する。</p>	<p>(呼 値)</p> <p>第14条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 呼値の単位は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 株券(受益証券を除く。)は、1株(新株予約権証券については、新株予約権の目的である株式1株の交付を受けることができる新株予約権の数を、1株とする。以下同じ。)につき、当該1株の値段が、2,000円以下の場合は1円、2,000円を超え3,000円以下の場合は5円、3,000円を超え3万円以下の場合は10円、3万円を超え5万円以下の場合は50円、5万円を超え<u>10万円</u>以下の場合は100円、<u>10万円</u>を超え<u>100万円</u>以下の場合は1,000円、<u>100万円</u>を超え2,000万円以下の場合は1万円、2,000万円を超え3,000万円以下の場合は5万円、3,000万円を超える場合は10万円とする。ただし、当取引所が呼値の単位を引き下げる必要があると認めて特に指定したものは、当該呼値の単位を下回る呼値の単位とする。</p> <p>(2)~(4) (略)</p> <p>4~8 (略)</p>